

上野毛地区 映画会「認知症の暮らしをみつめよう」

ぼけますから、



短縮版
48分上映

よろしくお願ひします。

広島県呉市。娘が泣きながら撮った1200日の記録

【日 時】

2月10日(月)14:00~15:30

【会 場】

(13:45~受付開始)

上野毛地区会館

地下大会議室(中町2-33-11)

申込制(先着順)
参加費無料

あらすじ

カメラを向けて、初めて気づいた。
両親がお互いを思いあっているということ。



母、87歳、認知症。父、95歳、初めての家事。

娘である「私」の視点から、認知症の患者を抱えた家族の内側を丹念に描いたドキュメンタリー。娘として手をさしのべつつも、製作者としてのまなざしを愛する両親にまっすぐに向けた意欲作。

©2018「ぼけますから、よろしくお願ひします。」製作・配給委員会

申込・問合せ

上野毛まちづくりセンター

03-3705-1361

主催:上野毛まちづくりセンター、上野毛あんしんすこやかセンター、上野毛地区社会福祉協議会
協力:世田谷区介護予防・地域支援課



カメラを向け、初めて気づいた。 両親がお互いを思い合っているということ。



**母、87歳、認知症。
父、95歳、初めての家事。**

広島県呉市。この街で生まれ育った「私」(監督・信友直子)は、ドキュメンタリー制作に携わるテレビディレクター。18歳で大学進学のために上京して以来、40年近く東京暮らしを続けている。結婚もせず仕事に没頭するひとり娘を、両親は遠くから静かに見守っている。

そんな「私」に45歳の時、乳がんが見つかる。めそめそしてばかりの娘を、ユーモアたっぷりの愛情で支える母。母の助けで人生最大の危機を乗り越えた「私」は、父と母の記録を撮り始める。だが、フェイnderを通し、「私」は少しずつ母の変化に気づき始めた…

病気に直面し苦悩する母。95歳で初めてリンゴの皮をむく父。仕事を捨て実家に

帰る決心がつかず揺れる「私」に父は言う。「(介護は)わしがやる。あんたはあんたの仕事をせい」。そして「私」は、両親の記録を撮ることが自分の使命だと思い始め—

**大反響のテレビドキュメンタリー、
待望の映画化。**

娘である「私」の視点から、認知症の患者を抱えた家族の内側に丹念に描いたドキュメンタリー。2016年9月にフジテレビ/関西テレビ「Mr.サンデー」で2週にわたり特集され、大反響を呼んだ。その後、継続取材を行い、2017年10月にBSフジで放送されると、視聴者から再放送の希望が殺到。本作は、その番組をもとに、追加取材と再編集を行った完全版である。娘として手をさしのべつつも、制作者としてのまなざしを愛する両親にまっすぐに向けた意欲作。



港町呉は坂の多い町でもあります。買い物するにも一苦労。結婚以来、父と母はずっとここで暮らしてきました。



ひとり娘
ドキュメンタリー監督
信友直子

1961年広島県呉市生まれ。東京大学卒業。在京キー局で数多くのドキュメンタリー番組を手掛ける。放送文化基金奨励賞、ニューヨークフェスティバル銀賞、ギャラクシー賞奨励賞など受賞多数。



【会場】

中町2-33-11
上野毛地区会館地下大会議室
(上野毛駅より徒歩5分)

【申込・問合せ】

上野毛まちづくりセンター
03-3705-1361